



あ か り

八尾市人権協ニュース

八尾市人権啓発推進協議会

第19号

2025年
(令和7年)
3月発行

ごあいさつ

八尾市人権啓発推進協議会は、同和問題を解決するため、1966（昭和41）年に八尾市PTA協議会、八尾市女性団体連合会（当時の八尾市婦人団体連合会）、八尾市連合青年会、八尾市青少年育成連絡協議会、八尾市人権教育研究会（当時の八尾市同和教育研究会）が発起人となって「八尾市同和教育推進協議会」として結成され、1987（昭和62）年に「八尾市人権啓発推進協議会」と改称し、本年度で59年めを迎えました。

現在では、市内30の各種団体と市内32すべての地区福祉委員会で形成され、人権尊重の理念を市民一人ひとりの心の中に育て、「差別のない明るいまちづくり」をめざし、さまざまな取り組みを行っています。

当協議会では、スローガンである「地域が育む、人権文化のまちづくり～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～」に、具体的な行動目標を加えた「八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言」をもとに、人権啓発を推進しておりますが、今後も地区人権研修をはじめとする、地域住民による人権「草の根」運動など、人権文化が根付くための取り組みをより一層推進いたします。

どうぞご支援ご協力をお願いいたします。

八尾市人権啓発推進協議会
会 長 角 田 禮 子

「青い鳥」上映会（人権啓発映画上映会）

今年度は、いじめについて理解を深めるため、「青い鳥」を上映しました。

いじめが原因で自殺未遂へと追い込まれ、転校を余儀なくされていた生徒がいるクラスに着任した吃音の臨時教師が、“本気の言葉”で生徒たちと向かい合う、心の交流を描いた物語です。

（参加者の感想）

- ・投げかけられ気づかされる内容でした。答えや具体的な行動は、じっくり考えたいと思います。若い年代の方にもぜひ観てほしいです。
- ・人の気持ちは色々あります。自分の思いを必ず誰かに話してほしいと思います。



大人は、みんな、十四歳だった。



八尾市人権啓発推進協議会
TEL: 072-924-3830 FAX: 072-924-9175

第47回みんなのしあわせを築く八尾市民集会

当協議会では、毎年、みんなのしあわせを築く八尾市民集会を開催しており、第47回となる今年度は国境なき芸能団代表の笑福亭鶴笑さんをお招きしました。「地上に平和を人に笑顔を ～笑いは世界の共通語～」というタイトルで、落語公演を交えてご講演いただき、世界平和について考える機会としました。



(参加者の感想)

- ・「戦争は最大の人権侵害」確かにそう思います。すべて尊重して暮らせる世の中にしたいものです。笑いは本当に大切です。
- ・戦争で感情を無くす子がいる事を知りました。笑いを届けにイラクなどに行って下さる方がいることを初めて知りました。こども達が笑ってられる世界が一番ですね。
- ・素晴らしい内容の鶴笑さんの活動を知り、平和になる日が早く来てほしいと強く願いました。
- ・とっても良かったです。言葉は分からなくても笑いはみんな同じです。笑いは世界の宝です。

ウクライナ避難民への支援について

八尾市では、令和4年5月から、ウクライナ人道支援のための寄附を受け付け、本市に避難して来られたウクライナの人たちに対して、安心して滞在することができるように生活支援等を行っており、市民の方々からの寄附金で購入した自動翻訳機を市民課や出張所等、ウクライナから避難して来られた方をはじめとする外国人市民に対して直接支援を行う窓口等に配置しています。

ロシアによるウクライナ侵攻は続いており、ウクライナの危機はいまだ収束の見通しが立っていない状況であると言わざるをえません。ウクライナへの人道支援に引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



第1回

「多様な人たちと暮らすための アンコンシャス・バイアス研修 ～自分の「あたりまえ」を見つめ直す～」

講師：大阪公立大学 ダイバーシティ研究環境研究所
客員准教授 巽 真理子さん

(感想)

- ・あたりまえがあたりまえでないことに気づいた。
- ・人に伝える時の言葉使いの難しさを痛感しています。相手の立場を考えて話が出来るようにしていきたいです。
- ・同じ会話でも話し方により、人を傷つけたり、不快にする事もあると思いました。人と普段からの付き合いでも心掛けていきたいと思います。
- ・自分は偏見などは、持っていないと思っていましたが、もっと気を付けないと、当たり前と思っていることに、偏見が入っている事に気付きました。

第3回

「地上に平和を人に笑顔を ～笑いは世界の共通語～」

講師：国境なき芸能団 笑福亭 鶴笑さん

(感想)

- ・国境をこえて「笑い」は通じるのだ!ということが落語やDVDを通じてよくわかりました。日常にもっと笑いを意識していかないと!と思いました。紙切り、私にもできるかな?
- ・笑いは世界を平和にします。早く世界平和が来るのを願います。
- ・とてもおもしろかったです。と同時に切なく、涙が出そうになりました。
- ・自分に出来る事で平和・人権尊重のまちにしていきたいです。

第5回

「8050問題の現状と課題 ～複合的課題を抱える世帯への支援～」

講師：梅花女子大学 文化表現学部

情報メディア学科 教授 綾部 貴子さん

(感想)

- ・人とかかわりが大切である。声かけ運動が大切と思う!まずは自分が元気に少しでも地域活動に頑張っていきたいと思えます。
- ・他人事ではなく自分事で考えていくことが大事であると思いました。
- ・誰でも可能性のある課題で、どういう支援ができるのか考えさせられました。多くの人に聞いて欲しいと思いました。
- ・色々と考えさせられました。町会長や包括と協力して、支援していけたらと思います。



第2回

「インターネット上の人権 ～若者とSNS～」

講演：認定NPO法人 DXP 理事長 今井 紀明さん

(感想)

- ・実際の現場の話をお聞きすることが出来て、勉強になりました。一人ではなく多くつながることが必要だと思いました。
- ・八尾の子どもたちを前に何が出来るか考えていきたいです。
- ・グリ下への見方が変わりました。学校でも居場所を作っていけるようにしていきたいです。
- ・今の私には、何が出来るのか考えるきっかけになりました。
- ・グリ下の現状、課題、支援の事をお聞きして、自分たちに何が出来るか、考えるきっかけ、ヒントになりました。

第4回

「報道と人権」

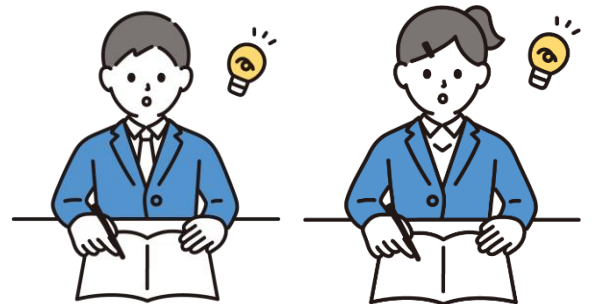
講師：松本サリン事件の第一通報者

/元長野県公安委員会委員

河野 義行さん

(感想)

- ・貴重なお話を聞けました。お互いの人権を守っていくことの大切さ、学びました。
- ・まちがって人権侵害しないよう、マスコミやSNSの情勢は冷静に見ないといけないと改めて思いました。
- ・河野さんのお話がとても分かりやすく感動しました。また市長のお話、条例の説明を含めて市のメッセージが明確に伝わるととてもいいイベントだと思いました。
- ・その人が犯人でなくても、報道なりうわさなりの中で矢面に立たされた時点で、その人の人権がなくなる怖さを思い知らされた。



地区人権研修事業

15地区の福祉委員会で人権研修が実施され、のべ379人の方が参加されました。来年度も引き続き、地区人権研修事業を進めていきます。

北山本地区

DVD上映

「防ごう 高齢者虐待
日常の介護から考える」

西郡地区

映画「破戒」上映会

用和地区

「参加型!多様な人々との
関わりかた」
NPO法人ナック
理事 赤木功さん

山本地区

「人生会議」
上之島中学校区高齢者
あんしんセンター
スローライフ八尾

南山本地区

「身近な暴力について
考えるセミナー」
NPO法人えんばわめん
と堺/ES 代表理事
北野真由美さん

南高安地区

「すべての子どもが
健やかに育つ社会へ
～子どもの権利と
人権を守ろう～」
楽語家 交遊亭楽笑さん

曙川東地区

「八尾学びの会」
(外国人に対する
日本語教室)

刑部地区

「高齢者の人権」
NPO法人えんばわめん
と堺/ES 代表理事
北野真由美さん

高美地区

「LGBTQ+をもっと
身近に自分ごとに」
NPO法人QWRC
内藤れんさん

高美南地区

「識字をチカラに」
大阪教育大学
識字・日本語連絡会
岡田耕司さん

安中地区

DVD上映
「認知症と向き合う」

亀井地区

「お互いに声かけあって
明るい地域へ
～子どもと高齢者の
人権を見守ろう～」
楽語家 交遊亭楽笑さん

大正北地区

「知っておきたい
認知症の基本」
大正中学校区高齢者あ
んしんセンターあおぞら

大正南地区

「ノーマライゼーションの
実現に向けて
～障がいのある方の
人権を守ろう～」
楽語家 交遊亭楽笑さん

亀井小東地区

DVD上映
「なぜ介護者が虐待
を・・・介護者支援から高
齢者虐待のない社会へ」

各種団体・地区福祉委員会の人権啓発事業実施状況

当協議会に加盟している各種団体及び地区福祉委員会につきましては、人権が尊重されたまちづくりのため、主体的に人権啓発事業を実施いただいております。

ここでは、各種団体及び地区福祉委員会が実施された人権啓発事業について、まとめています。

実施団体名	企画内容
八尾市女性団体連合会	八尾市消費者相談員研修会 「健康とくらし（くらしの中の人権）」他9回
八尾市人権教育研究会	八尾市人権教育研究会 夏季研究集会 「インターネットと人権問題」 他3回
一般財団法人 八尾市人権協会	じんけん楽習塾 「子どもの安全を子ども自身が守るために」 他5回
社会福祉法人 八尾市社会福祉協議会	八尾市社会福祉協議会 人権研修会 「障害者への合理的配慮について」
八尾市青少年育成連絡協議会	青少年指導員・こども会育成者講習会 「こどもの人権について」
八尾地区更生保護女性会	人権啓発研修 「インターネット上の人権」
人権擁護委員八尾地区委員会	いじめをなくそう人権教室 「いじめ問題」 他1回
美園地区福祉委員会	大人が子どもに対しての人権侵害（性被害） 「地域で守るこどもの性犯罪」
久宝寺地区福祉委員会	人権研修会 「みんなが笑顔でつながる未来へ！」

差別落書き防止啓発ポスターの掲示

公共施設・駅・公園など、多くの人が出入りする場所で、差別落書きが発見されています。

落書きの内容は、同和問題（部落差別）・障がいのある人・外国人などに対する差別など多方面にわたっていて、差別意識や偏見が意図的に表現されており、落書きをそのままにしておくことは、傷つく人を増やすことに繋がります。

差別落書きは許すことのできない悪質な行為であり、当協議会では、差別落書き防止啓発ポスターを市内各所に掲示し、差別落書きの防止啓発に取り組んでいます。

差別落書きを見つけたら・・・

●すぐに人権政策課に連絡する。

●落書きを紙などで覆い隠す。

（確認を行うまで、こすったり消してはいけません）

差別のないまちづくりの主役は、

あなたです

差別落書きをしないさせない地域の力

落書きとは、刑法(名誉毀損、侮辱、器物損壊等)により犯罪されることもあります。

差別落書きを発見された方は、至急下記までご連絡下さい。

072(924)3830 (八尾市人権ふれあい部人権政策課)

八尾市人権啓発推進協議会・八尾市

世界人権宣言パネル展

9月7日(土)に、アリオ八尾2階オレンジコートで開催された「世界人権宣言パネル展」に参加しました。

世界人権宣言の条文、差別落書き防止啓発パネル、障害者権利条約の条文の展示等がなされ、アンケートが実施されました。

【世界人権宣言で一番大切だと思う権利アンケート結果】
「ひとはみな生まれた時から自由で平等である」という内容の第1条と、「ひとはみなそれぞれちがうけど、みんな自由だということ、そして平等だ」という内容の第2条などが最も多く選ばれました。



当協議会で作成した啓発物品の提供を行い、「差別のない
明るいまちづくり」の実現に向けて積極的な啓発活動を展開
し、多くの方にご参加いただくことができました。

人権週間街頭啓発活動

12月4～10日の人権週間にあたり12月4日(水)に行われた、近鉄八尾駅前・JR久宝寺駅前での啓発活動に参加しました。

当日は、人権擁護委員八尾地区委員会・八尾市女性団体連合会のみなさまとともに、人権週間ポケットティッシュ、本人通知制度のチラシとともに、当協議会作成の差別解消3法周知の啓発マスクを配布し、市民のみなさまへ啓発を行いました。

啓発物品の作製



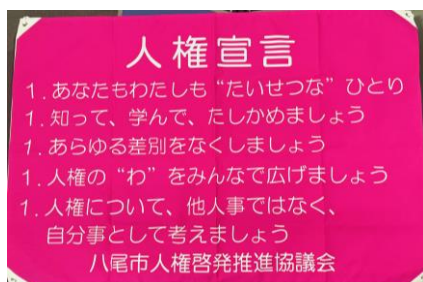
啓発マスク

差別解消3法を周知するため「啓発マスク」を、八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言を周知するため「啓発クリアファイル」と「啓発旗」を作製しました。

人権週間街頭啓発活動や八尾市内各地区への配布・掲出、公共施設での配架、当協議会主催事業での配布など様々な方法で周知・啓発に努めました。



啓発クリアファイル



啓発旗

八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言

当協議会では、スローガンである「地域が育む、人権文化のまちづくり～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～」に、具体的な行動目標を加えた「人権宣言」をもとに、人権啓発を推進しております。

今後も引き続き、様々な活動を通じて、「差別がないまち“地域が育む人権文化のまち八尾”の実現」をめざしてまいります。

八尾市人権啓発推進協議会 人権宣言

地域が育む、人権文化のまちづくり
～思いやり笑顔あふれる八尾のまち～

わたしたちがくらす八尾市には、生まれも育ちも文化もさまざまな人がくらししています。

わたしたちは、誰もが安心して幸せにくらすことを願っています。

人との出会いにより新たな価値観を広げ、人生を豊かにし、差別がないまち“地域が育む 人権文化のまち 八尾”の実現をめざして、ここに宣言します。

1. あなたもわたしも“たいせつな”ひとり
1. 知って、学んで、たしかめましょう
1. あらゆる差別をなくしましょう
1. 人権の“わ”をみんなで広げましょう
1. 人権について、他人事ではなく、
自分事として考えましょう



持続可能な開発目標 (SDGs:SUSTANABLE DEVELOPMENT GOALS)

「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、2015 (平成27) 年の国連サミットにて全会一致で採択された国際目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会を実現するための17のゴールと169のターゲットが定められており、人権分野はすべてに関連しており、そのうち特に関わりの深いものを紹介します。

1 貧困をなくそう



貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

10 人や国の不平等をなくそう



人や国の不平等をなくそう

各国内および各国間の不平等を是正する

2 飢餓をゼロに



飢餓をゼロ

飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

16 平和と公正をすべての人に



平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

4 質の高い教育をみんなに



質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する

17 パートナリシップで目標を達成しよう



パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

5 ジェンダー平等を実現しよう



ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

発行／八尾市人権啓発推進協議会

〒581-0003 八尾市本町1-1-1 事務局 八尾市人権ふれあい部 人権政策課内

電話(072)924-3830／FAX(072)924-0175